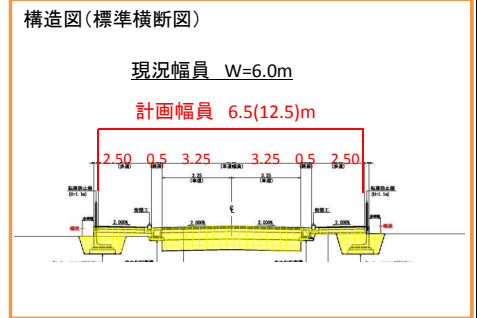
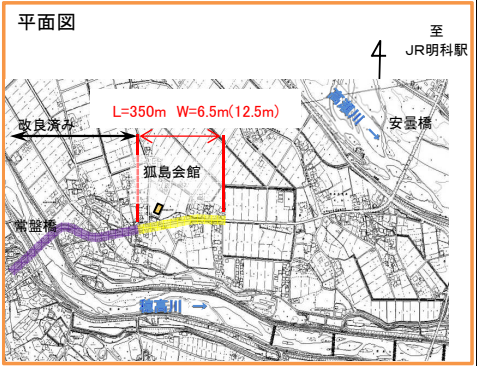


(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(主)穂高明科線		
事業毎の通番	14	市町村名	安曇野市	箇所名(ふりがな)	狐島(きつねじま)	
事業目的	(主)穂高明科線は、安曇野市を東西に結ぶ主要な道路となっている。このうち、狐島区において幅員狭小となっていることから、すれ違いが困難な箇所があり安全な走行に支障が生じている。このため、幅員狭小の解消、歩行空間の確保を目的とし、道路改築を行うことにより安全で安心な道路交通網の形成を図りたい。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	なし					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 8,872台/日					
着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	2.5	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=350m、W=6.5(12.5)m			330,000	297,000 33,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 交通事故の減少				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画交通量: 8,872台/日 ○代替道路の有無: 代替道路があるが安全性が低い ○医療・福祉・教育施設との連携: 穂高商業高校、穂高病院 ○交通結節点アクセス: バス定時路線(穂高駅・明科駅線)、JR穂高駅、JR明科駅の一次アクセス ○観光振興・地域の活性化: 安曇野わさび田湧水群、穂高温泉郷、長峰山など、活性化に資する			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合: なし ○緊急輸送道路の路線指定: 避難路線となる路線 ○地域指定: 豪雪地帯、積雪地帯に指定(安曇野市)			評価	B
	効率性	○費用便益比(B/C): 2.50 ○事業期間: 5年間 ○工法等の比較検討: 工法比較によりコスト縮減について検討予定 ○他事業との連携: なし			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数: 2件(H28:1件、H24:1件) ○道路環境改善: 安全な通行が確保されることにより朝夕の局所的な現象が緩和される ○歩道整備: 通学路交通安全プログラムに位置付け(穂高北小学校) ○現況の車道幅員、半径、勾配: 車道幅員5.0m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有: H28.9 地区住民との意見交換会を実施 ○地域の取り組み: 意見交換会の開催など積極的な取り組みがある ○地域の合意形成: H28.9 地区住民との意見交換会により事業目的についての合意形成が図られている ○住民との協働: 狐島区から意見交換会の開催等について、区独自の取り組みがある			評価	B
	部局意見	事業の必要性が高いため、平成30年度から事業化したい。		採択状況	総合評価	
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。		O	B		

事業概要説明図表



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、安曇野市明科地区から穂高地区を東西に結ぶ主要な幹線道路であり、通勤通学や観光地等へのアクセス道路として利用されている。このうち、常盤橋～安曇橋の間は、未改良区間で歩道未整備であることから、歩行者の安全な通行、通行車両の円滑な走行に支障が生じている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	安曇野市内を東西に連絡する主要な路線として、安曇野市、及び、狐島区から要望を受けている。
③事業説明等の経緯	H28.9 狐島区からの要望を受け、地区住民との意見交換会を実施している。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	自然環境等への配慮として、地形の改変を最小化する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安曇野市穂高～明科間の地域活性化も期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 20' 50" 東経:E 137° 54' 07"